
知北霊園 合葬墓地 整備方針

ア 背景・目的

少子高齢化・核家族化の進行やお墓に関する意識の変化等に伴い、お墓の承継者がおらず不安を感じる方や管理が不要なお墓を求める方の増加など、墓地を取りとりまく状況が変化しており、知北霊園もその変化に対応していく必要に迫られています。

現在、知北霊園の区画墓地は、区画墓地の新規利用者数より返還者数が多い状況が続き、全 6,685 区画のうち 627 区画が未利用区画となっています。そのために、未利用区画を増やさない対策として、新たな使用者を増やす施策や現在の使用者に継続して知北霊園を利用してもらう施策を進めています。

また、メディアや自治体などから発信されるいわゆる「終活」に関する情報が増えた影響などで、合葬墓地に関する問い合わせが増加しており、今後合葬墓地の整備に関する検討を進めるため、今回組合構成市町の住民の方や知北霊園の区画墓地利用者を対象に墓地に関するアンケート調査を実施しました。

このアンケート調査では、墓地の所有の有無など、それぞれの立場ごとに必要となる墓地のニーズや、期待するサービス・デザイン・制度を把握したうえで、他自治体の合葬墓地事例と比較し、知北霊園の合葬墓地にふさわしい整備内容を検討しました。

そのうえで、組合構成市町の住民や知北霊園の利用者がいつでも使用できる魅力的な合葬墓地を知北霊園に整備するために、基本的な方針について取りまとめました。

イ アンケート結果（資料 1）

- ・合葬墓地や納骨堂を利用したいというニーズがあります。
- ・維持管理や清掃が行き届いた墓地のニーズがあります。
- ・四季折々の樹木や景石など自然豊かな墓地のデザインが求められています。
- ・管内住民の希望として、骨壺前で直接参拝できる仕組みや、生前に権利を取得できる制度を求める傾向があります。

ウ 墓地の種類（資料 2）

区画墓地：利用者が区画内に墓石を建て、親族単位等で納骨する墓地

合葬墓地〈 合同埋蔵：複数の遺骨を 1 つの大型カロート等に合同で埋蔵する墓地
個別収蔵：特定の遺骨を小型カロート又は納骨棚へ個別に収蔵する墓地

エ 整備場所（資料 3）

整備場所：区画墓地周辺で整備面積の確保や良好な景観の確保が見込め、かつ駐車場が近接した場所を選定します。

整備面積：約 1,200～1,500 m²

オ 整備規模（資料4）

合同埋葬数：8,000 体程度

個別収蔵数：2,500 体程度

記名板：2,000 枚程度

建物（参拝所、個別収蔵室、管理室、トイレ）：120～150 m²

※50年間以上使用できる規模とします。

カ 整備費用

整備と管理に係る費用は下記の3項目の費用の合計とし、利用しやすい使用料となるよう、設計内容、事業収支及び自治体事例等に基づき計画していきます。

委託費用（調査、測量、計画、設計、監理の費用）

工事費用（建築・土木・造園工事、システムの費用）

管理費用（建物緑地管理、納骨参拝等接客の費用）

キ 整備スケジュール

- ・令和6年度から設計を開始し、令和8年度に工事をします。
- ・令和8年度から使用者の募集開始し、令和9年度から供用開始します。

ク 事例比較（資料5）

- ・アンケート結果を反映した知北霊園の特徴として、生前予約制度、ペア納骨制度など個別収蔵サービスの充実などがあげられます。

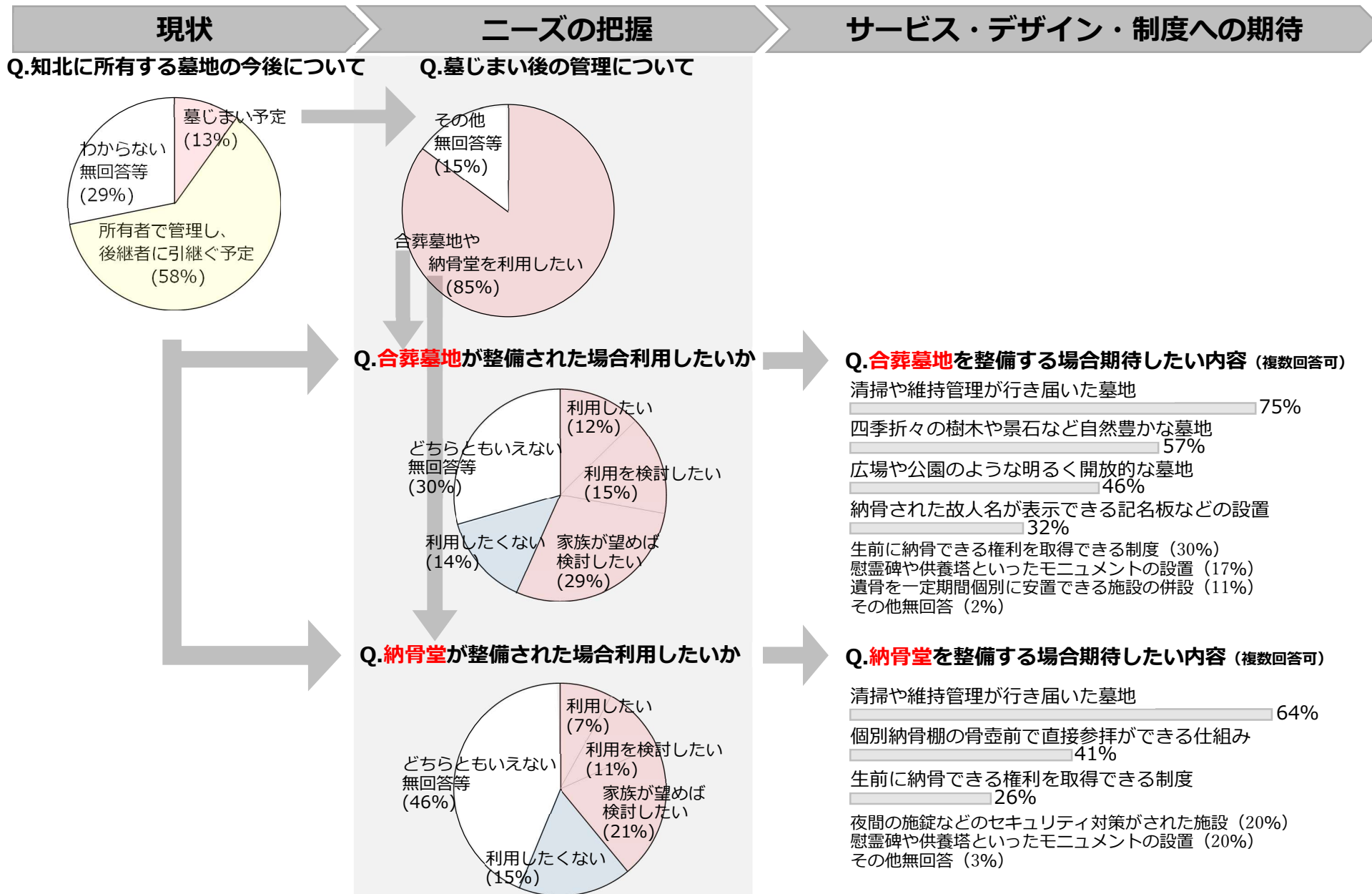
ケ 整備イメージ（資料6）

- ・区画墓地や緑地の景観にあわせ、主として緑豊かな和風デザインとします。

コ 方針

1. 墓地に対する多様な考え方を反映し、合葬墓地は合同埋蔵方式と個別収蔵方式の2種類の方式を整備します。
2. 墓地に関する不安を和らげるため、組合が将来にわたり合葬墓地を管理するものとし、併せて利用しやすい使用料を設定します。
3. 合葬墓地は故人の尊厳を保ち、利用者が心穏やかに参拝できる場所とし、樹木や景石など自然に囲まれた合同埋蔵墓地や、管理しやすい和風建物（参拝所・個別収蔵室・管理施設）などを整備します。
4. 利用者ニーズに基づき、納骨堂に類似した室内で骨壺を収蔵する施設や、合葬墓地の権利を生前に取得できる制度などを検討します。

イ アンケート結果（知北霊園の区画墓地利用者の方を対象とした結果）



3 (資料 1-1)

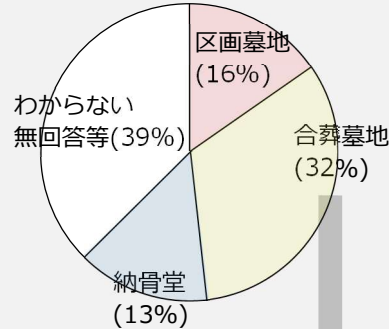
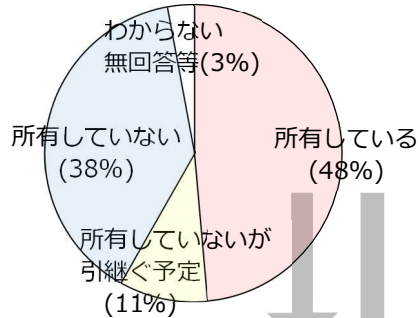
利用者アンケート：知北霊園の区画墓地を利用している方 1,300 人にアンケートを実施し、721 人からの回答結果より

現状

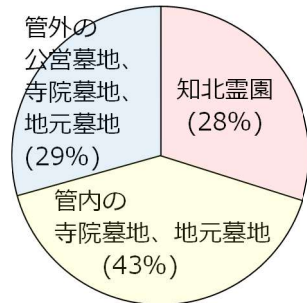
ニーズの把握

サービス・デザイン・制度への期待

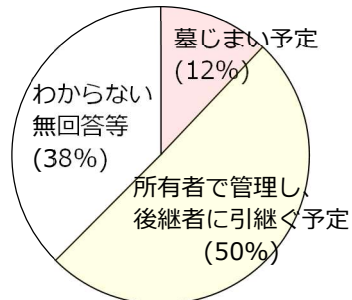
Q1.墓地の所有の有無について → Q2.整備が必要な墓地の形態について



Q. 墓地の所有場所について



Q. 所有する墓地の今後について



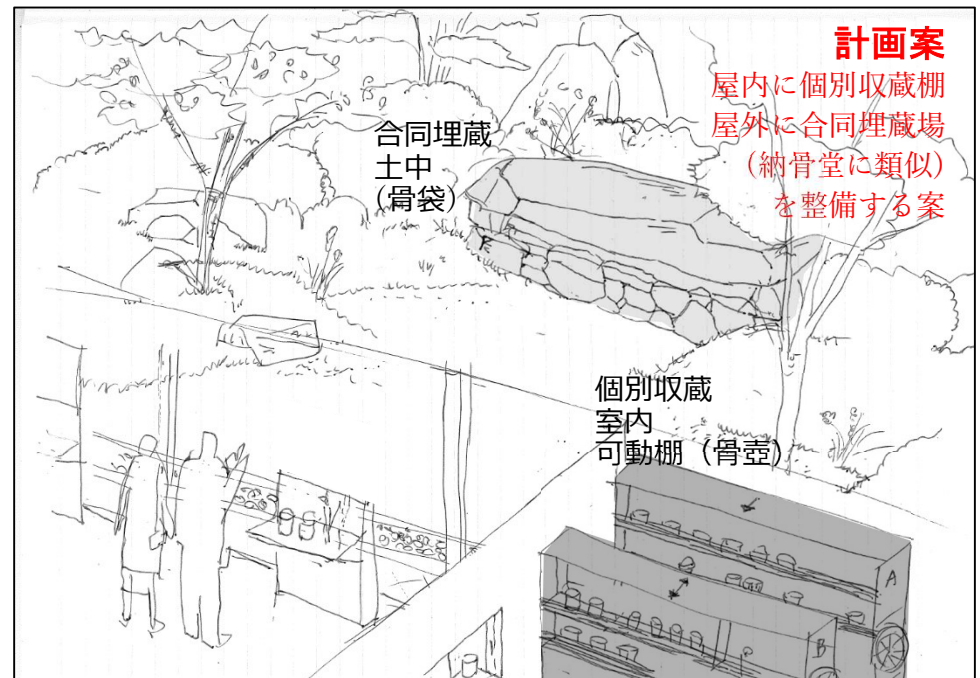
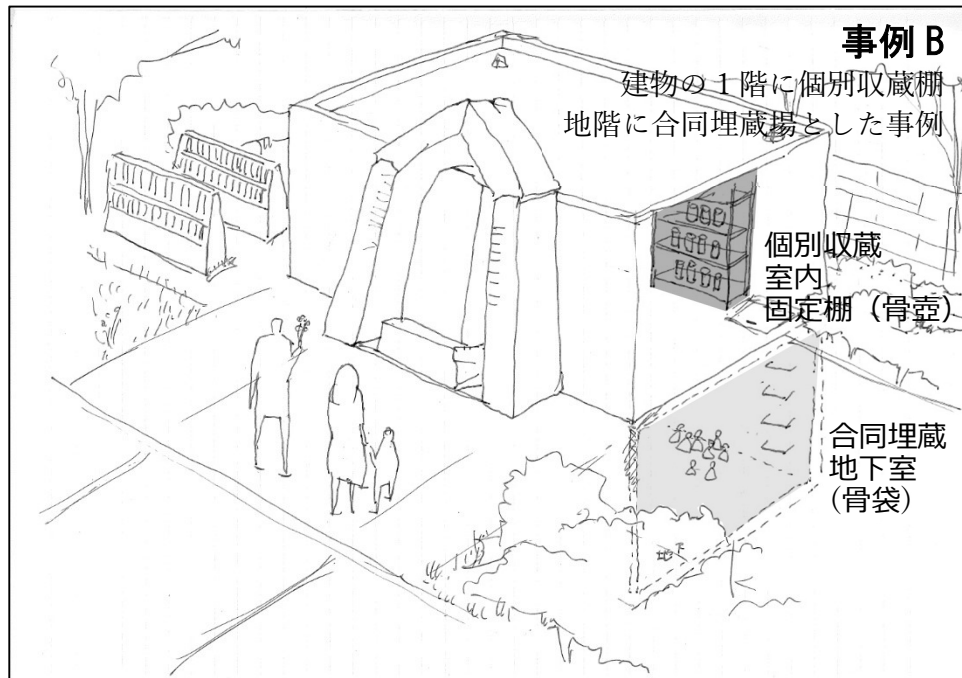
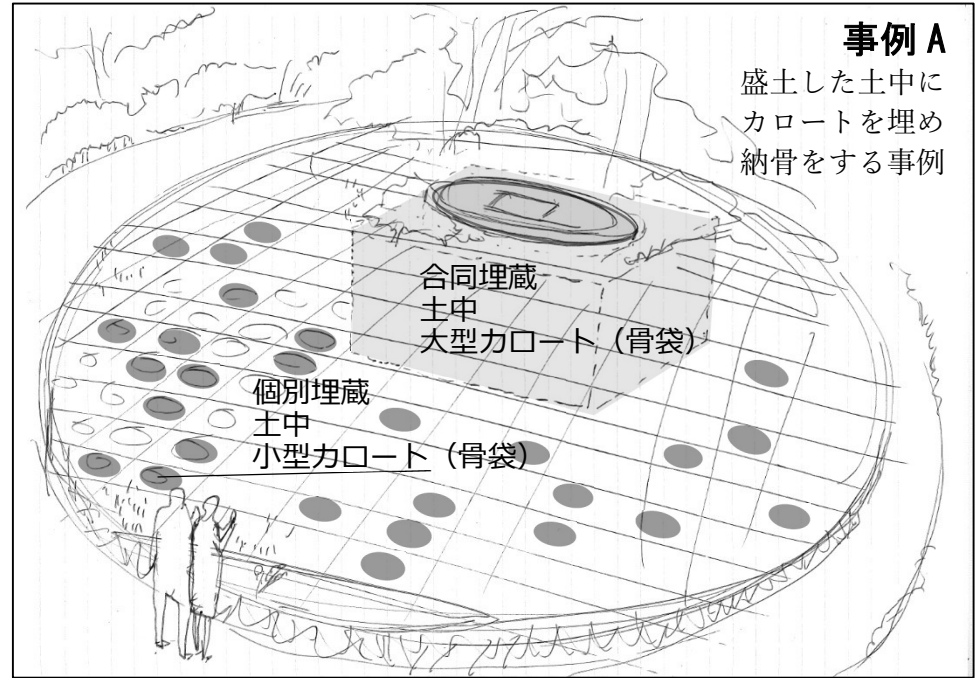
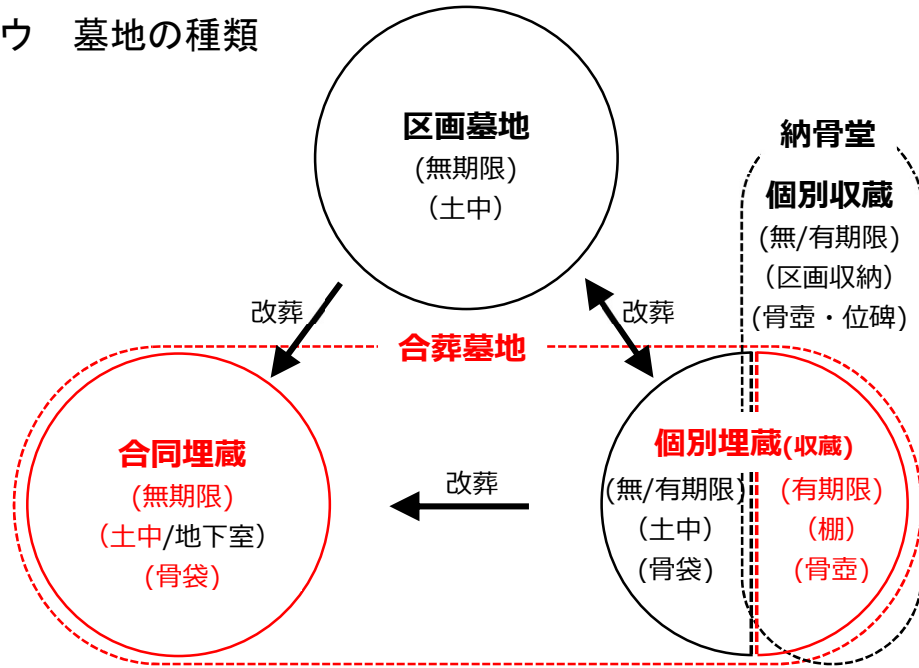
Q. 合葬墓地を整備する場合期待したい内容（複数回答可）

- 清掃や維持管理が行き届いた墓地 65%
- 四季折々の樹木や景石など自然豊かな墓地 55%
- 広場や公園のような明るく開放的な墓地 50%
- 生前に納骨できる権利を取得できる制度 44%
- 納骨された故人名が表示できる記名板などの設置 (21%)
- 慰霊碑や供養塔といったモニュメントの設置 (14%)
- 遺骨を一定期間個別に安置できる施設の併設 (10%)
- その他無回答 (4%)

Q. 納骨堂を整備する場合期待したい内容（複数回答可）

- 個別納骨棚の骨壺前で直接参拝ができる仕組み 64%
- 清掃や維持管理が行き届いた墓地 58%
- 生前に納骨できる権利を取得できる制度 42%
- 夜間の施錠などのセキュリティ対策がされた施設 (19%)
- 慰霊碑や供養塔といったモニュメントの設置 (6%)
- その他無回答 (10%)

ウ 墓地の種類



工 整備場所

資料 3



6 (資料 3)

整備場所の景観



霊園入口



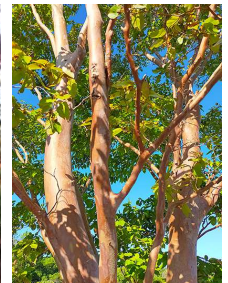
墓地×桜



東屋×新緑



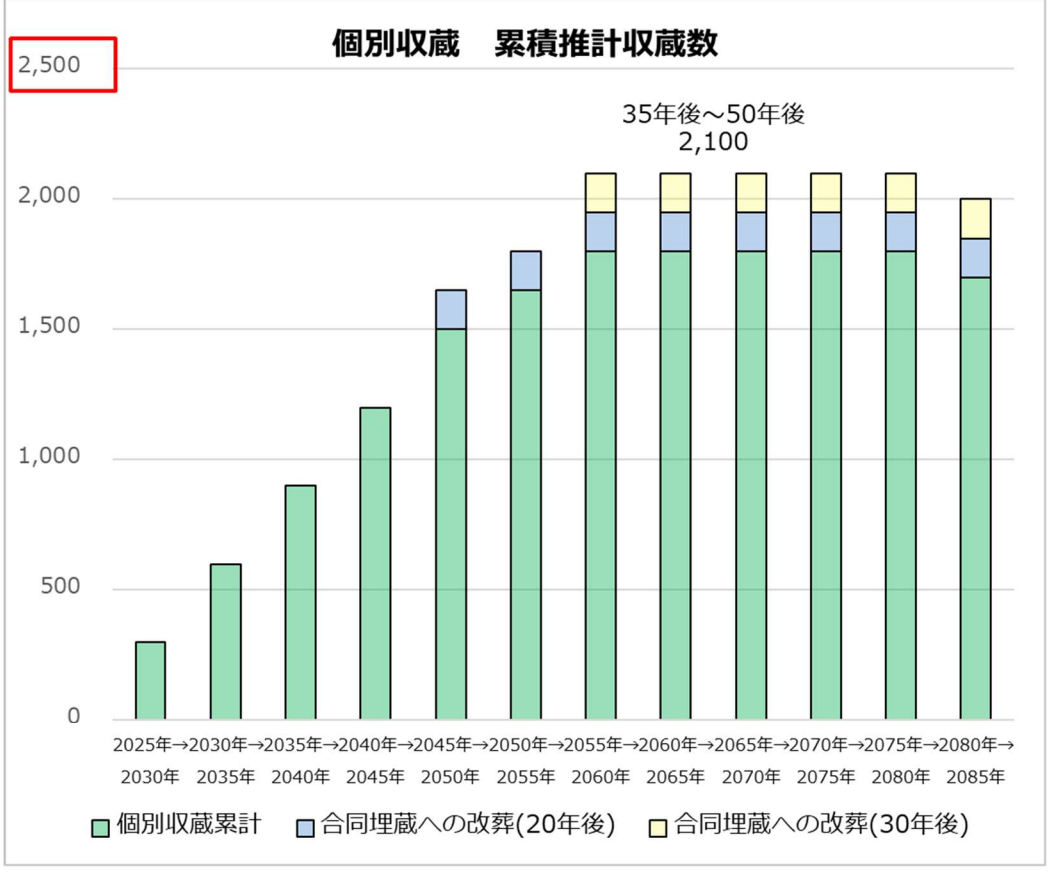
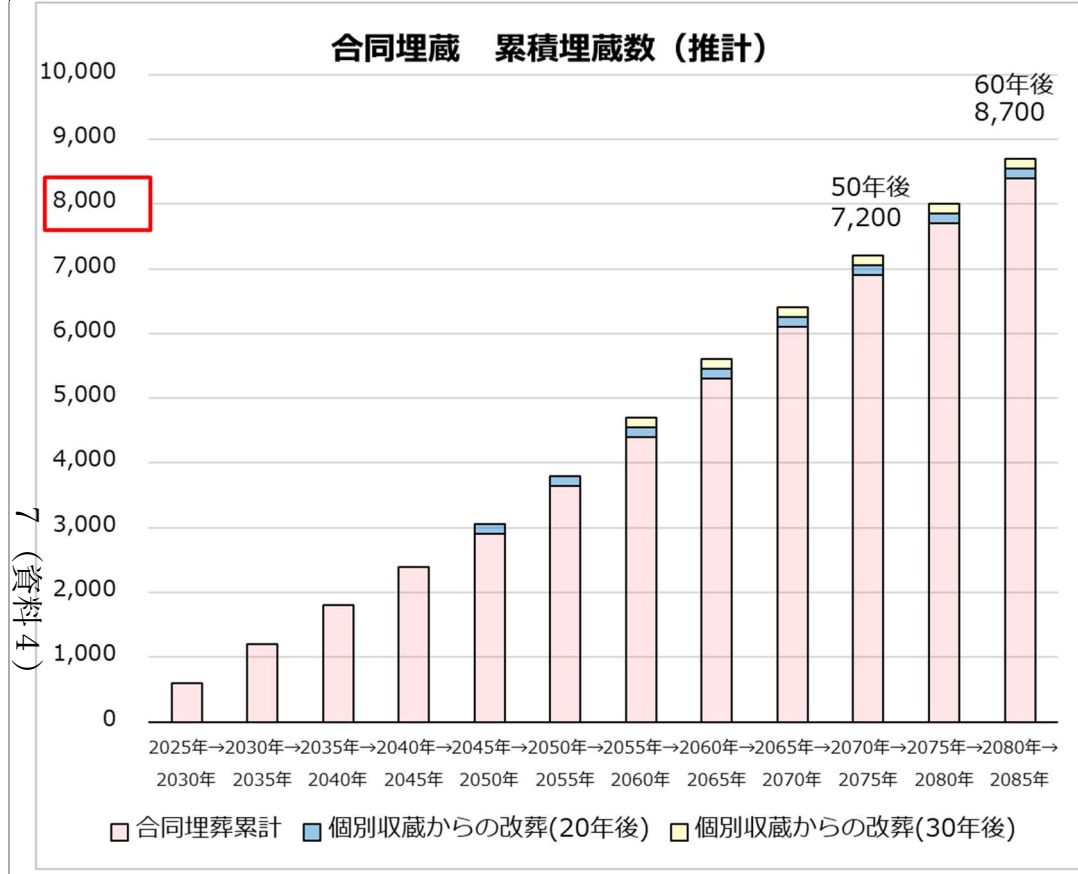
石庭×紅葉



沙羅の樹

才 整備規模

資料 4



合同埋蔵数 = 管内墓地需要数 × 知北霊園希望率 × 合葬墓地希望率
 = 管内墓地需要数 × 0.338 × 0.321

※個別収蔵に納骨してから20年後に半数が合同埋蔵に改葬されるとし、30年後に残りの半数も合同埋蔵に改葬されるとした。

個別収蔵数 = 管内墓地需要数 × 知北霊園希望率 × (納骨堂希望率 + 合葬墓地希望率 × 個別収蔵併設希望率)
 = 管内墓地需要数 × 0.338 × (0.132 + 0.321 × 0.135)

※個別収蔵に納骨してから20年後に半数が合同埋蔵へ改葬されるとし、30年後に残りの半数も合同埋蔵へ改葬されるとした。

記名板：2,000 枚程度

建物（参拝所、個別収蔵室、管理室、トイレ）：120～150 m²

ク 事例比較

項目	知北霊園 東海市・大府市・東浦町	みどりが丘公園 名古屋市	御油第二墓園 豊川市	北市場霊園 多治見市	卯塚墓園 長久手市
人口	26万人	232万人	18万人	11万人	6万人
設置年度	R9	R5	R6	R3	H27
整備費用	－	2.6億	3.8億	0.5億	1.2億
建物	有：120～150㎡	無	有：110㎡	有：45㎡	無
合同埋蔵	8,000体程度	8,000体	10,000体	5,000体	－
使用料(管外)	未定	12万(14.4万)	5万	5万	－
納骨場所	土中	土中	地下室	地下室	土中
個別埋蔵(収蔵)	2,500体程度	4,000体	1,500体	1,000体	2,500体
使用料(管外)	未定	20万(24万)	10年：10万 20年：15万	12万	15万(20万)
納骨場所	室内(納骨堂類似)・可動棚	土中	室内	室内・固定棚	土中
納骨期間	20年(10年延長可)→合同埋蔵	20年→合同埋蔵	10,20年→合同埋蔵	20年→合同埋蔵	永年
焼骨の返還	○	×	×	×	×
ペア納骨	○	○	×	×	○
生前予約	○	○	○	×	○
記名板	2,000枚	－		2,000枚	－
使用料(管外)	未定	－	3万	1万	－
方式	石・ｽﾚｯﾄﾞ板等	－		石板：氏名等記載	－
特徴 (検討中も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・骨壺前での直接参拝の検討 ・区画墓地と合葬墓地、両方の権利を取得できる制度の検討 ・知北霊園の区画墓地から合葬墓地への優先改葬制度の検討 				

ケ 整備イメージ (案)

